

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称	マイコセル寒天培地‘栄研’
製品コード	E-MF10
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証統括部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
FAX番号	0280-56-2422

推奨用途及び使用上の制限 細菌検査用の培地として使用

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日 H25.8.22、政府向けGHS分類ガイダンス(H25.7版)を使用

GHS改訂4版を使用

シクロヘキシミド(1.1w/w%含有) 劇物

物理化学的危険性		区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分1
	皮膚腐食・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性・刺激性	区分2A-2B
	生殖細胞変異原性	区分2
	生殖毒性	区分1B

環境に対する有害性

分類実施日	急性毒性:H22.2.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H21.3版)を使用	
	慢性毒性:H18.3.31、GHS分類マニュアル(H18.2.10)を使用	
	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(長期間)	区分2

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の11項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
飲み込むと生命に危険
皮膚刺激
強い眼刺激
遺伝性疾患のおすれの疑い
生殖能力または胎児への悪影響のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

安全対策

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋を着用すること。取扱いはよく洗うこと。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。必要に応じた個人用保護具をしようすること。
環境への放出を避けること。

応急措置

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
皮膚についた場合：大量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類はすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚刺激が生じた場合には医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

**保管
廃棄
他の危険有害性**

施錠して保管すること。
法令に従って廃棄すること。
知見なし

**クロラムフェニコール(0.14w/w%含有)
物理化学的危険性
健康に対する有害性**

急性毒性(経口)	区分外
生殖細胞変異原性	区分5
発がん性	区分1B
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
	区分1、区分2

**環境に対する有害性
分類実施日**

区分外
急性毒性：H22.2.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H21.3版)を使用
慢性毒性：H18.3.31、GHS分類マニュアル(H18.2.10)を使用

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の11項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



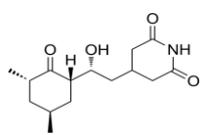
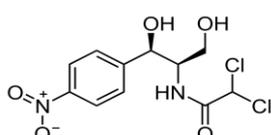
**注意喚起語
危険有害性情報**

危険
飲み込むと生命に危険
皮膚刺激
強い眼刺激
遺伝性疾患のおすれの疑い
生殖能力または胎児への悪影響のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

安全対策	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋を着用すること。取扱いはよく洗うこと。 保護眼鏡/保護面を着用すること。 安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。必要に応じて個人用保護具をしようすること。 環境への放出を避けること。
応急措置	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。 皮膚についた場合：大量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類はすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚刺激が生じた場合には医師の診断/手当てを受けること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。 漏出物を回収すること。
保管 廃棄 他の危険有害性	施錠して保管すること。 法令に従って廃棄すること。 知見なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

組成・成分	混合物
化学名又は一般名 別名 濃度又は濃度範囲 分子式(分子量) 化学特性(示性式又は構造式)	ソイペプトン、ブドウ糖、シクロヘキシミド(1.1w/w%)、クロラムフェニコール(0.14w/w%) シクロヘキシミド シクロヘキサマイド 1.1w/w% C ₁₅ H ₂₃ NO ₄ (281.35) 
CAS番号 官報公示整理番号(化審法) 官報公示整理番号(安衛法) 分類に寄与する不純物及び安定化添加物	66-81-9 4-295 該当しない データなし
化学名又は一般名 別名	クロラムフェニコール 2,2-ジクロロ-N-(β-ヒドロキシ-α-(ヒドロキシメチル)-p-ニトロフェネチル)
濃度又は濃度範囲 分子式(分子量)	0.14w/w% C ₁₁ H ₁₂ Cl ₂ N ₂ O ₅ (323.13)
化学特性(示性式又は構造式)	
CAS番号	56-75-7

官報公示整理番号(化審法)	該当しない
官報公示整理番号(安衛法)	該当しない
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし

4. 応急措置

吸入した場合

吸入による事故の場合は負傷者を新鮮な空気のある場所に移し、急速させる。呼吸が弱かったりとまっている場合、衣類をゆるめ呼吸気道を確保下上で人口呼吸を行う。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。
皮膚に触れたら、直ちに多量の水と、石鹼で洗う。

眼に入った場合

最低15分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行う。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、医師にその容器、ラベル又はSDSを見せる。
水でよく口の中を洗わせる。意識がある場合、水をコップ1-2杯飲ませた上で、指をのどに差し込んで吐き出させる。
被災者に意識の場合は、吐かせてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入
皮膚
眼
経口摂取
最も重要な兆候及び症状

知見なし
知見なし
知見なし
知見なし
知見なし
適切な保護具を着用する。

応急措置をする者の保護

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

水、粉末、炭酸ガス、泡
該当なし
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
消火水は汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
風上に留まる。
密閉された場所に立入る前に換気する。
低地から離れる。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適切な保護衣を着用していないときは破損した容器や漏洩物に触れてはいけない。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
適切な保護具を着用する。

回収・中和

掃き集めて、容器に回収する。
粉塵が悲惨しないようにする。

封じ込め及び浄化方法・機材

危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。

二次災害防止策

関係者以外は近づけない。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所に入る前に換気する。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
容器内に水を入れない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

「8.ばく露防止及び保護処置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

「8.ばく露防止及び保護処置」に記載の局所排気装置、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
眼、皮膚との接触を避けること。
飲み込まないこと。
皮膚との接触を避けること。
眼に入れないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

保管 接触回避
衛生対策
技術的対策

データなし
データなし
保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、証明及び換気の設備を設ける。

保管条件
安全な容器包装材料

直射日光を避け、密栓して室温に保管する。
ポリエチレン、アルミメタル

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 未設定

設備対策 日本産衛学会(2014年度版) 未設定
ACGIH(2014年版) 未設定

この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
ばく露を防止するために、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

保護具 呼吸用保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な保護具を着用すること。
適切な保護衣を着用すること。

衛生対策 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状	粉末
色	淡黄白色
臭い	特異なおいはあるが、腐敗臭はない。
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	6.9± (調整後)
融点・凝固点	混合物としてデータなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	混合物としてデータなし
引火点	混合物としてデータなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	混合物としてデータなし
燃焼性(固体、気体)	混合物としてデータなし
燃焼又は爆発範囲	混合物としてデータなし
蒸気圧	混合物としてデータなし
蒸気密度	混合物としてデータなし
比重(相対密度)	混合物としてデータなし
溶解度	混合物としてデータなし
n-オクタノール/水分配係数	混合物としてデータなし
自然発火温度	混合物としてデータなし
分解温度	混合物としてデータなし
粘度(粘性率)	混合物としてデータなし
粉じん爆発下限濃度	混合物としてデータなし
最小発火エネルギー	混合物としてデータなし
体積抵抗率(導電率)	混合物としてデータなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と
危険有害反応可能性	知見なし
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	窒素酸化物(NO _x)、塩素/塩化水素

11. 有害性情報

混合物として	データなし
<シクロヘキシミド>	
急性毒性	経口
	経皮
	吸入:ガス
	吸入:蒸気
	吸入:粉じん及びミスト
皮膚腐食性及び刺激性	データなし
	ウサギにおけるStandard Draize Testにおいて”Moderate (中程度)”の刺激があること(RTECS(2004))、ヒトの皮膚を刺激するとの記述がある(ICSC(J)(1997), HSDB(2002), SITTI(4th, 2002), HSFS(1999))ことから、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ヒトの眼を刺激するとの記述がある(ICSC(J)(1997), SITTI(4th, 2002), HSFS(1999))ことから、区分2A-2Bとした。なお、本データからの細区分は困難である。
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	データなし

生殖細胞変異原性

マウス骨髄小核試験で陽性(RTECS(2004))から区分2とした。なお、in vitro遺伝毒性試験のAmes試験では陰性、マウスリンフォーマ試験では陽性と報告されている(RTECS(2004))。

発がん性
生殖毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
吸引性呼吸器有害性

データなし
妊娠ラット/マウスに対し、胚吸収、胎児致死、多肢症等の
データなし
データなし
データなし

<クロラムフェニコール>

急性毒性 経口

経皮
吸入:ガス
吸入:蒸気
吸入:粉じん及びミスト
皮膚腐食性及び刺激性
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
呼吸器感受性
皮膚感受性
生殖細胞変異原性
発がん性

飲み込むと有害のおそれ。
ラット LD50 2500mg/kg

データなし
データなし
データなし
データなし
刺激する場合がある。
刺激する場合がある。
知見なし
知見なし
知見なし
IARC-Gr.2A:ヒトに対しておそらく発がん性がある。
NTP-Gr.R:ヒト発ガン性があると合理的に予測される物質。

生殖毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
吸引性呼吸器有害性

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
データなし
データなし
データなし

12. 環境影響情報

混合物として

データなし

<シクロヘキシミド>

生態毒性 水生環境有害性(急性)

水生環境有害性(長期間)

魚類(ニジマス)の96時間LC50=1400 µg/L(AQUIRE、2003)から、区分2とした。

急性毒性が区分2、生物蓄積性が低いものの(BCF<2.8(既存化学物質安全性点検データ))、急速分解性がない(BODによる分解度:1%(既存化学物質安全性点検データ))ことから、区分2とした。

オゾン層への有害性

データなし

<クロラムフェニコール>

生態毒性 水生環境有害性(急性)
水生環境有害性(長期間)
オゾン層への有害性

甲殻類(オオミジンコ) : EC50/48H 345000 µg/L
知見なし
データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、分類実施中の12項の環境影響情報とに、基づく修正の必要がある。

国際規制

国連番号	非該当
国連品名	非該当
国連危険有害性クラス	非該当
副次危険	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78附属書II及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当

国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法の規制に従う。

特別安全対策

緊急時応急措置指針番号	非該当
-------------	-----

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	劇物【シクロヘキシミドを含有する製剤】
化審法	分類:既存化学物質(シクロヘキシミド)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	混合物としては非該当 (クロラムフェニコール1w/w%未満)
消防法	該当しない
大気汚染防止法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
航空法	該当しない
船舶安全法	該当しない
港則法	該当しない
道路法	該当しない

16. その他の情報

参考文献	各データ毎に記載した。
------	-------------

SDSは、品質保証書、規格書ではありません。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱ってください。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施してください。